

2008年度 東北雪氷賞授賞候補者の募集

東北雪氷賞授賞者選考規定に基づき、平成20年度東北雪氷賞授賞候補者を募集いたします。支部会員の中から次の賞にふさわしい方のご推薦をお願いいたします(自選も可)。

- (1) 東北雪氷賞(学術賞)
- (2) 東北雪氷賞(学術奨励賞)
- (3) 東北雪氷賞(功績賞)
- (4) 東北雪氷賞(特別功績賞)

推薦される方は、3月10日(消印有効)までに必要事項を記載した推薦書を下記選考委員会委員長宛に郵送にて提出をお願いします。なお、過去の授賞者リスト及び推薦書の書式事例は機関誌「東北の雪と生活」に掲載されています。

推薦書の送付先：〒996-0091 山形県新庄市十日町高壇1400
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所
佐藤 威(東北雪氷賞選考委員会委員長)

2007年度 雪氷関連学位論文調査のお願い

雪氷学会では、毎年「雪氷」5月号に「雪氷学関連博士・修士論文一覧」を掲載しています。つきましては、平成19年度に学位(博士・修士)を取得(指導)された方、または関連する学位取得論文をご存知の方は、以下の例を参考に必要事項をメール・ファックス・郵送にて、庶務幹事・原田宛に3月10日までをお願いします(送り先は最終段にあります)。

- (例) 取得大学：北海道大学大学院 地球環境科学研究科 地圏環境科学専攻
学位名：博士論文
氏名：原田鉦一郎
論文表題：Studies on detection of permafrost structure
(永久凍土の構造の検出に関する研究)

2008年度 東北支部大会のご案内

2008年度(社)日本雪氷学会東北支部大会(理事会、総会、研究発表会)を、山形県新庄市にて下記の予定で開催いたします。今大会から、これまでの口頭発表に加えてポスター発表を受け付けることにしました。皆様のご参加ならびに研究発表をよろしく願い申し上げます。

開催日時：2008年5月16日(金)、17日(土)

開催場所：雪の里情報館(理事会、総会、研究発表会)

〒996-0086 新庄市石川町4-15 電話 0233-22-7891

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/1636.html>

参加費：1,000円(講演資料代を含む)

日程：5月16日(金) 9:30~10:45 理事会
11:00~12:15 開会、総会、授賞式
13:30~14:50 特別講演会

15:00～17:15 研究発表会
 18:00～20:00 情報交換会
 5月17日(土) 9:00～12:30 研究発表会
 12:30 閉会

情報交換会会場：大地会館（新庄市沖の町5-64 電話 0233-23-1151） 会費 3,000円

今後の予定：5月7日(水) 研究発表の申込みおよび講演要旨の提出期限

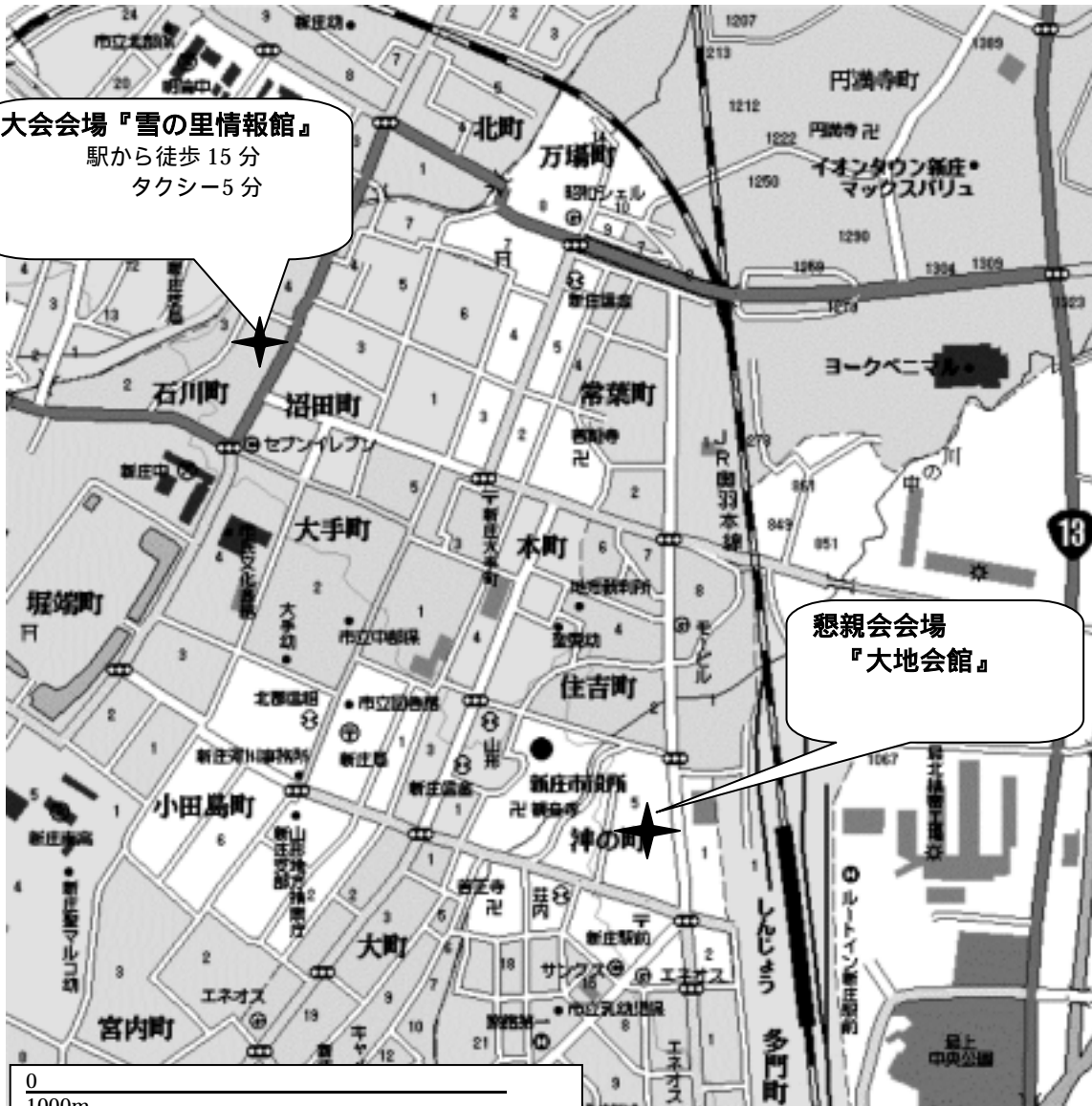
5月16日(金) 本原稿の提出

その他：宿泊などは各自でご予約ください

連絡先：〒996-0091 新庄市十日町高壇1400

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所 阿部修

電話：0233-23-8006 FAX：0233-23-3353 email：oabe@bosai.go.jp



積雪観測講習会の開催報告

東北支部主催の積雪観測講習会が2008年1月17日に岩手県の八幡平で開催されました。本講習会は今年で6度目となります。今回の講習会は、北東北エリア雪崩事故防止セミナーと一部合同で開催されました。参加者は東北地方の大学関係者、学生、山スキーヤーなど合計24人でした。気温は-9とかなり低かったものの好天に恵まれ、積雪観測講習に都合の良い日でした。

講習会では、最初に基本学習として積雪の基礎知識に関する講演が室内にて行われました(写

真1)。参加者には雪崩に関心を持つ人が多かったこともあり、雪崩の発生メカニズムや、吹雪による雪庇・吹き溜まりの形成と雪崩との関係についても詳しい説明がありました。

基本学習に続いて、野外における積雪断面観測の実習が行なわれました(写真2)。1.5mほどの深さのスノーピットを掘り観測された積雪は大略、表面に新雪、その下に、しまり雪、さらにその下にざらめ雪がある典型的な層構造を成していました。その中に薄いこしもざらめの層も観察され、受講者の興味を引きました。初心者には難しいとされる雪質の判別ですが、透明プラスチックカードで挟まれた各雪質の雪粒子の拡大写真などとその場で見比べると、比較的容易に行えるようでした。

最後に、室内に戻り、観測したデータを整理する実習が行なわれました(写真3)。測定値を整理し、雪温や雪密度などの値を算出するとともに、それらのデータをグラフ化する作業も行なわれました。積雪の測定は初めての方もおり、はじめは戸惑う様子も見られましたが、順を踏んで計算することで、正しい値が得られることを実感したようでした。また値の測定だけでなく、グラフを描くことで積雪構造の特徴が明瞭になることを理解してもらいました。本講習内容により、積雪構造の観測・記録に関する基本的な手法に慣れてもらうことが出来たと言えるでしょう。受講者には後日、東北支部長からの終了証が送付されました。

本講習会の実施にご協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

日 時：2008年1月17日(木)

場 所：八幡平リゾートホテル 〒028-7302 岩手県八幡平市八幡平温泉郷

主 催：(社)日本雪氷学会東北支部

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所

共 催：日本雪工学会、北東北エリア雪崩事故防止研究会

講習会のスケジュール

1. 基本学習(8:45~9:45)

- ・積雪観察の基礎と雪崩の発生メカニズム

講師：小杉健二(防災科学技術研究所)

- ・吹雪による雪の輸送・それに起因する雪崩について

講師：根本征樹(防災科学技術研究所)

2. 野外観測(10:00~12:00)

積雪断面観測(雪温、雪質、密度、硬度など)

講師：小杉健二、根本征樹

3. データ整理実習(12:00~13:00)

講師：小杉健二、根本征樹



写真1 基本学習の様子



写真2 積雪断面観測の講習



写真3 観測データの取りまとめ

東北支部メーリングリストへの登録のお願い(再掲)

東北支部では情報発信の手段としてメーリングリストを開設しています。ニュースレターの配信や最新の情報をメールにて受け取れるものです。経費節減にもつながりますので、メールアドレスをお持ちの方は、是非とも登録をお願いします。登録をご希望の方は、庶務幹事（電子情報委員）の原田までご連絡をお願いします。

発行：(社)日本雪氷学会東北支部事務局

発行責任者：庶務幹事・原田 鉦一郎

〒982-0215 仙台市太白区旗立2-2-1 宮城大学食産業学部 環境システム学科

電話 & FAX：022-245-1434 email：haradak@myu.ac.jp